まちの頼れるお母さん

行政相談委員15年の功績により総務大臣表彰を受賞した 渡邉妙子（たえこ）さん（八中）

行政に関する相談以外にも

今年、県内の行政相談委員で総務大臣表彰を受けたのは2人。その一人が渡邉妙子さんだ。

行政相談とは、道路や年金など生活に密着した行政に関する相談ごとを受け、役場などに伝えて解決を図る制度。その窓口が行政相談委員だ。しかし、相談ごとは行政の話にとどまらないと妙子さんは話す。

「例えば夫婦間の問題とか、家事のこととか…。行政とは関係のない相談もたくさんあります。でも、それはうれしいことなんですね。100の相談のうち、1つでも2つでも行政に関する相談があればそれで十分。着任した当初は『行政相談』という言葉自体、堅いイメージがあって。もっと身近なものにしなければと、ずっと思いながらやってきたんです。最近、皆さんがいろいろと相談してくれるのは、少しずつ身近になってきた証。今後は、子どもでも気軽に相談できるような窓口にしていきたいと思っています」。

活動の一つに「行政相談出前教室」がある。子どもたちに、行政相談について興味や親しみを持ってもらうために企画された課外授業だ。妙子さんと中村とし子さん（前相談員）が講師となり、実例を交えながら制度の内容を説明する。昨年本小で開かれた初の教室では、児童から活発な質問が飛び出し大好評だった。授業後の感想でも「とても分かりやすくためになった」「僕たちも制度を利用してどんどん提案していきたい」などの声が上がった。

一番大切なのは「信頼」

行政相談に限らず、どんな相談でも大事なのは「信頼関係」だと妙子さんは言う。

「皆さんが信頼してくれるから、この制度が成り立っているんです。身近に感じられると同時に、絶対信頼をそこねちゃいけない。皆さんの意見に精一杯応えることがわたしの務めなの」。やさしい笑顔とは裏腹に、その言葉は力強い。

夫の支えがあってこそ

授賞式は、旦那さんと2人で出かけた。一生に一度あるかないかの晴れ舞台。旦那さんも喜んでくれたでしょ？と尋ねると、「う～ん、わたしより喜んでいたのかもね。全然そんなそぶりは見せなかったけど」と笑った。

「でも、わたしが行政相談に従事できるのは、夫が支えてくれるおかげ。感謝しているんですよ」と言いながら照れた。

わたしはこの町が大好き

妙子さんはこの町が大好きだといってはばからない。

「この町の人は、みんないい人なんです。ほかのどこよりこの町が好き。わたしはもっと、ここで自分にできることで貢献していきたい。この町の素晴らしさを、町内にも町外の人にも伝えたいと思っているんです」。

まちの頼れるお母さん。失礼かもしれないけれど、親しみを込めてそう呼ばせてもらいたい。

あなたの身近に「行政相談」

年金・河川・道路管理など、国の仕事やその手続き・サービスについて「困っていることがある」「こうしてほしい」「どこに相談したら良いか分からない」…。行政に関する意見や相談を聞き、解決の促進を図るのが行政相談です。そして皆さんの身近な窓口になるのが行政相談委員と呼ばれる人たちです。総務大臣が特にお願いした民間の有識者で、本町には2人の委員がいます。相談は無料、秘密は厳守します。些細なことで構いませんので、気軽にご相談ください。

【問】静岡行政評価事務所☎0570（090）110
役場総務課　☎（56）2220

総務大臣賞受賞を佐藤町長に報告した渡邉妙子さん

このまちこのひと

KONOMACHI・KONOHITO

消防団員と協力してテントを設営する地域の中学生。東海地震など大規模災害時には、さまざま人が力を合わせ、困難に立ち向かうことが大事だ　9月1日総合防災訓練

special edition

大規模災害に屈しない

「災害列島」と呼ばれる日本
毎年のように到来する大型台風や集中豪雨
阪神淡路大震災・新潟県中越地震などの大規模地震
そんな大自然の猛威は、
ときとして簡単に人の命を奪い去り、
大切な財産を跡形もなく失わせてしまう
わたしたちは学ばなければならない
いつか必ず起こる大規模災害に、立ち向かわなければならない
今、わたしたちにできることは何なのか